

株主のみなさまへ

BUSINESS REPORT

特集 サステナビリティビジョン2030



証券コード：5162

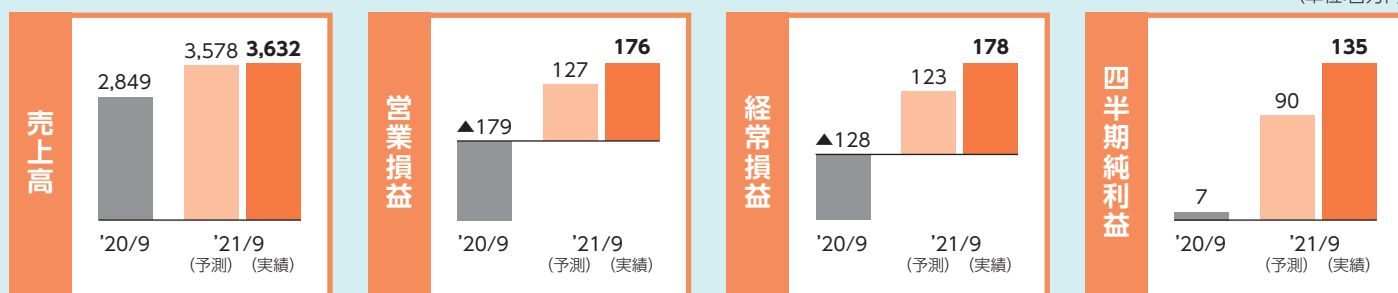
第52期 中間株主通信

2021.4.1 ▶ 2021.9.30

第52期 第2四半期 連結財務ハイライト

決算のポイント：自動車向け製品の受注が回復し、大幅な増収増益となりました。

(単位:百万円)



ごあいさつ

多くの方々との会話をもって、どんなことをすれば社会に貢献できるか、お客様のお役に立ち喜んでいただけるかを追求していきます

当第2四半期は、医療用ゴム製品において前期下期からの一部製品の在庫調整の影響があったものの、自動車向けのASA COLOR LEDやスイッチ用ゴム製品、卓球ラケット用ラバーの受注が好調に推移したことから、売上高は増収となりました。各利益については、売上高の回復に伴い、前期の赤字から一転して黒字となり大幅な増益となりました。また、売上高と利益については、8月6日時点の予測より上回った実績となりました。

通期見通しは、8月6日時点の予測から変更していません。自動車市場が半導体不足や東南アジアの新型コロナウイルス感染症の影響などで生産量が低下していることから、当社の受注も減少する可能性があります。また材料費などの高騰による影響を見込んでいます。

当社の2030年までの長期ビジョン「AR-2030VISION」では、会社は社会のためにあるべきものであり、「人を豊かにしてグローバル社会貢献度が高い技術会社」という将来像を見据え、SDGs

／ESGを経営の軸に置くことをより明確にしました。そして、ゴムが持つ無限の可能性を追求することで朝日ラバーらしい価値を磨き、事業を通じて社会に貢献する会社であり続けることを目指し、サステナビリティビジョン2030を策定しました。

私たちが事業を進めている業界は、大きく変わろうとしています。社会の課題を解決するために、それぞれの業界の中で新たなサービスをお客様に提供していくためには、自分たちはもっと出口をつかむ行動ができるようになっていくことが大事です。そのために多くの方々との会話をもって、目的を明確にしてどんなことをすれば社会に貢献できるか、お客様のお役に立ち、喜んでいただけるかを追求していきます。

代表取締役社長

渡邊 陽一郎



サステナビリティビジョン2030

ゴムが持つ無限の可能性で未来を創り
持続可能で明るく快適で豊かな社会の実現に貢献します



ESGの視点を経営の軸において事業を通して持続可能な社会に貢献する「サステナビリティビジョン2030」を策定いたしました。感動や共感が得られる行動の積み重ねを惜しまない企業姿勢を大事にして、持続可能な社会に貢献する企業として成長し続けていきます。

ESGの取り組み

社会の一員として持続可能な社会の実現に向けて、社会課題解決へのアプローチとして、ESGの取り組みを経営の基本的な枠組みとしています

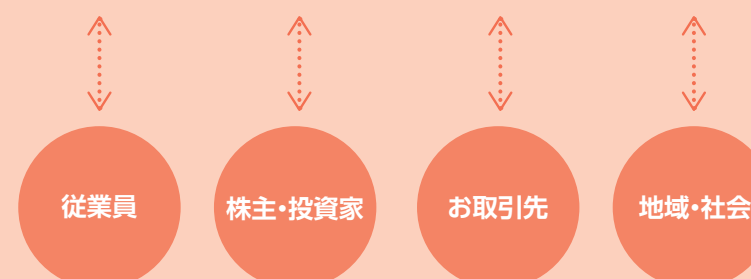


事業を通しての貢献

独自のコア技術を進化させて4つの事業でステークホルダーからの期待に応え、当社との協働・協創にご満足いただけるよう、朝日ラバーらしい価値を高め続けます



朝日ラバー



ステークホルダー

企業として貢献するSDGs

ESGの取り組みを土台にして、独自のコア技術を発展させて事業を拡げ、SDGsの達成に貢献し、サステナブルな社会の実現を目指します

① 市場への貢献



ゴムの持つ無限の可能性を追求し、独自の技術を進化させていくことで、すべての人の健康に貢献する医療・ライフサイエンスと再生可能エネルギーの発展に貢献する製品開発とものづくりを進めています。

② 社内の活動



ジェンダーや多様性など個性を尊重し、誰もが働きがいをもっていきいきと仕事ができる環境づくりに努めます。またものづくりにおいては、エネルギーの効率的な使用を追求し、廃棄物の削減と温室効果ガス排出の削減に取り組みます。

③ 社会貢献活動



ゴムという材料の豊かな可能性を身近に感じていただき、当社の事業活動の理解を深めるだけでなく、新しい発想が生まれる土壌づくりと将来の技術の進化に貢献できる活動を拡げていきます。

④ 全体の活動



全ての活動は当社グループを取り巻く様々な方々とのパートナーシップを拡げた共創が不可欠です。多くの方々と多くの感動や共感が得られる行動の積み重ねを大事にして、事業を通じた社会の課題解決に取り組みます。

TOPIC 白色シリコーンインキの標準化の活動が産業標準化事業表彰の経済産業大臣賞を受賞しました



経済産業省の新市場創造型標準化制度を利用し、その原案作成から参画し、2018年にJIS規格として制定された「照明器具用白色シリコーンインキ塗膜」の標準化に関する活動が、経済産業省の令和3年度産業標準化事業表彰の経済産業大臣表彰を受賞いたしました。白色シリコーンインキの品質の信頼性確保、また類似品との差別化を図りつつ市場への普及を拡大させることを目的とし、新市場創造型標準化制度を活用した試験方法の規格化にあたり、関連する多様な企業、学識を有する大学・研究機関を交えながら、試験条件、規格の検証を行ってきたことや、セミナー等での事例紹介を通して、新市場創造型標準化制度の広報や普及に取り組んできた活動を評価いただきました。

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	11,500,000株
発行済株式の総数	4,618,520株
株主数	3,225名

大株主 (2021年9月30日現在)

株主名	(株)	(%) ^{※1}
株主名	持株数	持株比率
有限会社伊藤コーポレーション	477,500	10.5
佐藤尚美	228,700	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	222,528	4.9
株式会社東邦銀行	207,400	4.5
株式会社武蔵野銀行	196,500	4.3

※1 持株比率は自己株式(53,076株)を控除して計算しております。

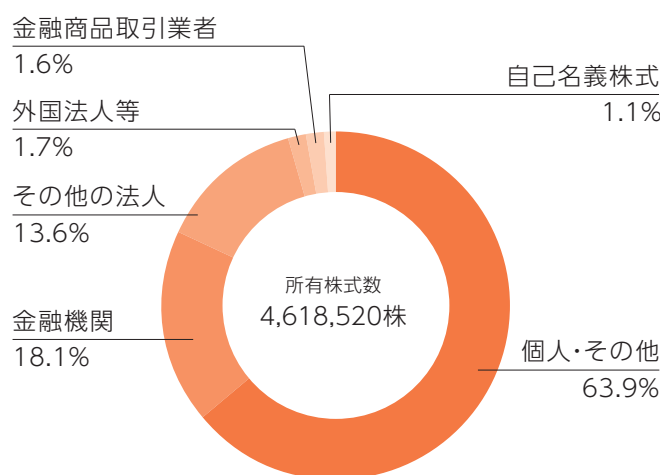
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.asahi-rubber.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

所有者別株式の分布状況 (2021年9月30日現在)



会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	株式会社朝日ラバー (ASAHI RUBBER INC.) https://www.asahi-rubber.co.jp/
所在地	埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2
設立	1976年6月 (創業1970年5月)
資本金	5億1,687万円
証券コード	5162
正社員数	313名
主な業務内容	工業用ゴム製品の製造・販売
主な事業所	本社: 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目7番2 大阪営業所 / 名古屋営業所 / 福島工場 / 第二福島工場 / 白河工場 / 白河第二工場
役員	取締役会長 横山 林吉 代表取締役社長 渡邊 陽一郎 取締役 田崎 益次 取締役 滝田 充 取締役(監査等委員) 高木 和久 取締役(監査等委員)(社外) 馬場 正治 取締役(監査等委員)(社外) 筑紫 勝磨